

福岡盟九州聯合會執行委員會

- 一、日時 昭和十年四月一日 午後八時
- 二、會場 小倉市 製綢小倉勞動會館
- 三、出席者 久保時造 外一〇名
- 四、委員會內容

- 1、開會 主席 久保時造
- 2、報告

一、九州聯合會本部報告 久保時造

イ、第十九回國際勞動總會資本家代表、勞動代表顧問送別の

福岡地方勞資懇談會狀況

ロ、九州電氣軌道株式會社バス運轉手の勞働強化と待遇改善制度を三月二十一日より實施したる爲本部は慎重に内部的事情を調査の上ピラ等のアジを控へ個々のメンバー獲

得の方針を以て進んでゐる。

ハ、某工場では最近工程増奨勵金を削減し昨年末賞與の回収を圖り極度に勞働強化をなし従業員は甚しき不滿を洩らしてゐるので昨年末調査中の有力メンバーにも連絡が出来た爲に慎重なる組織方針で臨んでゐる。

ニ、東洋陶器では従來六百餘の従業員を千名以上に増員し、悉く人夫名表で使用してゐたが聯合會の主張である「人夫名表の臨時工使用反対」の要求は縣當局の取締警告となり東洋陶器に於ても臨時工を悉く本職工に採用した。

二、直方出張所報告 元阪順次

事務所開設以來一般的宣傳闘争に全力を傾倒したが、第二期宣傳は目標工場に集注し、組織運動具体化の實踐に入る計畫である。